指扇小だより

教育目標　やり抜く子の育成
かしこく　やさしく　たくましく　あたたかく

令和７年４月３０日　　第２号
さいたま市立指扇小学校
〒331-0078
さいたま市西区西大宮１丁目４９－６
電話 048-623-0133 FAX 048-624-2200
https://sashiogi-e.saitama-city.ed.jp

「ありがとう」の気持ちを込めて

校長　小松　伸弘

春雨が過ぎたと思ったら、急に夏の到来を感じる天気になりました。子どもたちは今日も元気に外で遊んでいます。

さて、私は始業式以来、朝に通学路を見回っています。回ってみて気付いたのは、踏切が多いこと、道の細さに比して想像以上に交通量が多いことです。子どもたちが登校する時間に車と自転車が次々とやってきます。放っておいたら、いつ事故が起きてもおかしくない場所があると感じました。

支えてくださっているのは、交通指導員や防犯ボランティアの皆さん、そしてＰＴＡの皆さんです。毎朝交差点に立ち、子どもたちを誘導してくださっています。驚くことに交通指導員さんや防犯ボランティアさんは、指扇小学校の子だけでなく中高生や出勤途中の大人にも声をかけ、相手も高い割合で挨拶を返してくれます。挨拶が地域を活性化させていると感じました。

子どもたちも、事故が起きないように協力しながら歩いてきます。班長さん、副班長さんは、上手にペースを調整しながら歩き、時おり止まっては、低学年が付いてきているかどうかを確認します。班員も、班長さんのペースに合わせて間を空けないように歩いています。どちらも安全に登校しようという責任感が感じられました。また、子どもたちの挨拶の素晴らしさにも驚いています。低学年は手を振りながら元気よく、高学年は丁寧に会釈をして挨拶を返してくれます。挨拶は人間関係を円滑にするだけでなく、言われた人の自己肯定感を上げる効果があるそうですが、私も毎日子どもたちから元気をもらっています。

挨拶と同じくらい、「ありがとう」という感謝の言葉も大切です。感謝を伝えると、言われた人も言った人も、心と体が元気になるからです。そこで私は先日の一斉下校の際に、子どもたちに一つ欲張りなお願いをしました。それは、「交通指導員さんや防犯ボランティアの皆さんに挨拶する時に、『ありがとう』の気持ちを込めて言ってみよう」ということです。同じ挨拶でも、込められた気持ちによって聞こえ方が違ってくるのではないかと思いました。この学校だよりがお手元に届くころには、子どもたちの挨拶が今までとは少し違って聞こえるかもしれません。

不思議なことに、日本においては、関係が親しくなればなるほど挨拶や感謝の言葉を言わなくなる傾向があるようです。とりわけ思春期の子にとっては、恥ずかしい気持ちや、言わなくても分かってくれるだろうという思いがあるのかもしれません。ただ、せっかく心と体を元気にしてくれる言葉ですから、言わないのはもったいないと私は考えています。是非、御家庭でも挨拶や感謝の言葉を声に出して伝える習慣を育んでいただければ幸いです。

５月は更なる猛暑が予想されます。本校でも熱中症対策に十分留意してまいりますが、御家庭でも水分補給等に御協力をお願いいたします。